

ウィーン・コンツェルト・フェライン **Wiener Concert-Verein (WCV)** は、**1987**年にウィーン交響楽団 **WSO** の精鋭を中心として結成された国際的名声のある室内管弦楽団です。

そのレパートリーは幅広く、ウィーン古典派音楽家の管弦楽曲からオーストリアのコンテンポラリーにまで及んでいます。設立当初より **WCV** はオーストリア現代音楽家の **40** 作品以上の初演を手掛け、成功を収めてきました。

1987 年 **WCV** がそのデビューを飾って以来、オーケストラはヨーロッパを中心に、北米や日本などでも演奏旅行を行い、ウィーン芸術週間、ブレゲンツ音楽祭、モーツァルト・フェスティバル・ヴェルツブルク、オルデンブルク・プロムナードコンサート、モーツァルト・フェスティバル・アウグスブルク、プラハの秋音楽祭、リュブリアーナ・フェスティバル、ウィーン・クラングボーゲン、ハイドン週間など多くの音楽祭において客演しています。

2006 年のモーツァルト・イヤーではカナダ、ドイツ、フランス、ハンガリー、クロアチア、スロベニア、スイスにて、**2007** 年はフランス、スペイン、スロバキアでも公演旅行を行いました。

2004 年からウルフ・シルマーを **WCV** の首席客演指揮者に迎え、この共演はクラシックとコンテンポラリー音楽の架け橋としての役割を果たすことを目的とし、益々活発な活動を続けています。

オーケストラと現代音楽家との共演はオーストリアにおいてはユニークなもので、**1993** 年以降ウィーン楽友協会のコンサートシリーズでは高レベルカテゴリーの演目として定期的に演奏されています。これまでにウラディミール・フェドセーエフ、レオポルド・ハーガー、ウルフ・シルマー、マルチェロ・ピロッティ、クラウス・ペーター・フロール、クシシュトフ・ペンデレツキやファビオ・ルイジら世界一流の指揮者たちと共演しています。

WCV の **CD** はオーケストラのプログラムに基づいてクラシックとコンテンポラリー双方の集大成を記録しています。**2005** 年には、**WCV** のミヒャエル・ハイドンの録音がクラシック・アマデウス・アワードのオーケストラ・アンサンブル部門にウィーン・フィル、ベルリン・フィルらと共にノミネートされました。これまでにリリースされた **CD** にはミヒャエル・ハイドン、レオポルド・モーツァルト、ラインハルト・ズース、ジャン・フランセなどの作品が収録されており、クラウス・ペーター・フロール指揮によるカール・マリア・フォン・ウェーバーの交響曲 **1** 番と **2** 番及びコンツェルトシュテュック **Op.79** が最新 **CD** に収められています。

WCV はウィーン市、オーストリア連邦政府教育科学文化省、**OESTIG** 及び **AKM** から公的助成を受けており、**2011** 年まで **4** 回エルンスト・フォン・シーメンス財団よりその活動が奨励されています。

